

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	同和対策啓発事業	担当課	人権推進課
総合計画	政策	ひと	計画期間
	施策	人権の尊重と多文化共生社会の実現	種別
	基本事業(取組)	人権尊重意識の向上	市民協働
予算科目コード	01-020706-01 単独	根拠法令・条例等	部落差別の解消の推進に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>同和問題は、人類普遍の原理である人間の自由と平等に関する問題である。その早急な解決こそ国（行政）の責務であると同時に国民的課題であるとし、国の同和対策事業特別措置法が制定され、県が昭和44年から、守谷市は昭和56年から実施している。</p>	<p>運動団体主催の研修会への参加や市民、市内企業及び教職員向けの研修会を実施する。 同和問題の解決に寄与することを目的に活動する自主運動団体のうち、県が認めている運動団体の守谷支部へ補助金を交付する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>市民をはじめ、市職員、小中学校教職員に対し啓発活動を積極的に実施することで、同和問題を中心とする、人権問題に関する正しい認識と理解を深め、差別の解消を図る。地域住民の生活の安定と福祉の向上並びに同和対策事業の推進に寄与する。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民一人ひとりが人権意識を高め、人権を侵害することがない社会を目指す。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
同和問題等の人権問題は市民一人ひとりが、人権が尊重された社会の確立に向けた課題と捉え、豊かな人権感覚を育てていくために、今後も長期継続的に事業を行う必要がある。	人権運動団体主催の研修会は15回開催予定であったが、コロナ禍のため14回の開催となり105名の参加があった。また例年、人権運動団体の方を講師に招いて市職員対象の人権(同和)問題職員研修を開催していたが、令和4年度は、茨城県と茨城県教育委員会が作成した人権問題啓発映画「ホーム」の上映会に変更した。対象者は会計年度任用職員と新規採用職員であり81名の参加があった。 8月に開催している人権教育講演会は、オンラインでの開催となったが、市民や企業及び団体、議員、教職員等194件のアクセスがあった。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
各団体主催の同和問題研修会の回数（回）	7.00	13.00	13.00	7.00	9.00	14.00	15.00
同和問題講演会等に参加した人数（人）	42.00	564.00	159.00	42.00	624.00	380.00	400.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	人権運動団体主催の研修会の開催回数は、主催者の意向に基づき開催されるものであるが、コロナ禍で縮小していた研修会も例年通りの開催日数となってきた。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	同和問題等の人権問題については、心の意識改革が必要であるため、長期継続的に事業を行う必要がある。人権運動団体主催の研修会は参加対象者を階層別に分けて参加要請しているが、参加したことがない人が参加できるように配慮していく。 人権(同和)問題職員研修会や人権啓発DVDの視聴会など、同和問題を軸として他の人権問題もテーマとして取り上げることで、幅広く周知できるように実施していく。					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	2,571	2,778	3,047	4,226	4,226
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,571	2,778	3,047	4,226	4,226
正職員人工数（時間数）	725.00	564.00	670.00	0.00	0.00	
正職員人件費	2,935	2,182	2,584	0	0	
トータルコスト	5,506	4,960	5,631	4,226	4,226	

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	文化会館運営管理事業	担当課	人権推進課	
総合計画	政策	ひと	計画期間	昭和60年度～
	施策	人権の尊重と多文化共生社会の実現	種別	任意的事務
	基本事業(取組)	人権尊重意識の向上	市民協働	その他
予算科目コード	01-020707-01 補助	根拠法令・条例等	守谷市隣保館の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>文化会館(隣保館)は、同和対策事業の一環として地域社会全体の中での福祉向上や人権啓発の住民交流拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、昭和60年4月に社会福祉施設として開館した。</p>	<p>令和3年度までは、文化会館運営事業と文化会館施設維持管理事業に分けて管理していたものを統合し一本化した。</p> <p>地域社会全体の中で、福祉の向上や人権課題解決のため、生活相談事業や地域交流促進事業等を行う。また、来館者へ人権啓発用品の配布や人権に関する取組内容等を館内に掲示し、意識の向上に努める。併せて市民の利便性を図るため、住民票等の発行事務やテニスコート使用許可書発行事務等を行う。</p> <p>館内の定期清掃や警備委託、保守点検などを実施することで、利用者へ快適なサービスを提供する。</p> <p>また、令和4年度は利用者からの要望に応じ、網戸の取り付けやキャスター付会議用机等を購入する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>隣保館運営事業を行い、様々な人権問題の速やかな解決に努める。また、地域住民の生活上の相談に応じ、関係機関などと綿密な連携を保ち、福祉の向上を図る。</p> <p>施設を適切に維持管理することにより、円滑な隣保館運営に努めるとともに、利用者が安全で快適に館内を利用することにより住民サービスの向上につながる。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民一人ひとりが人権意識を高め、人権を侵害することがない社会を目指す。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
<p>コロナ禍で、貸館業務休止期間や施設の利用制限などもあったが、「人権啓発講演会」は開催することができ、啓発用品の配布など、できる範囲で事業を執行するように努めた。また、会議用机4台、自動手指消毒器3台及び顔認証サーマルカメラ1台を購入し、使用者の利便性向上を図った。定期的な保守管理を行い、小規模な修繕を適宜実施することで設備の維持管理を目指した。</p> <p>（実施した修繕及び工事） 玄関タイル補修、屋根笠木補修工事、街灯修繕（LED化）、事務室コンセント増設、駐車場看板補修、事務室ブラインド補修、倉庫入口ドア補修、電話設備更新工事、公衆無線LAN設置工事</p>	<p>利用者からの要望に応じ、プロジェクター等の情報機器やキャスト一付会議用机を購入したほか、調理室黒板のホワイトボード化、換気対策として網戸の取り付けを行うなど、使用者の利便性・安全性を向上させることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたことにより、安心して活動ができるよう、必要な感染防止対策を講じながら貸館に努めた。</p> <p>守谷市公共施設予約システムの導入及び利用開始（令和5年4月～）に向け、インターネットで予約から支払いまでができるように準備を進めた。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
文化会館の利用者数（人）	9,433.00	29,112.00	21,061.00	9,433.00	10,749.00	15,982.00	18,000.00
生活相談員による各種相談件数（件）	139.00	171.00	146.00	139.00	169.00	174.00	192.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新型コロナウイルス感染症の緩和により、利用者数が増加した。施設の改善を図り、利用者への利便性を図ることができた。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	予約システムから予約をしようとする使用者は増加傾向にあるが、当館利用者は高齢者が多いため、マニュアル化や対面指導等の改善策を検討する必要がある。また、施設の維持について、建築から約40年経過しているため、必要に応じて改修を検討していく必要がある。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	2,220	2,897	9,139	8,708	0
	国・県支出金	894	1,673	1,385	1,175	1,175
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	230	267	267
	一般財源	1,326	1,224	7,524	7,266	-1,442
正職員人工数（時間数）		3,024.00	1,454.00	1,809.00	0.00	0.00
正職員人件費		12,241	5,626	6,976	0	0
トータルコスト		14,461	8,523	16,115	8,708	0